令和6年度(2024年度)北海道千歳高等支援学校学校経営方針　グランドデザイン版

職業学科を設置する道立知的障がい特別支援学校高等部のミッション：卒業後の職業自立（就職）に必要となる専門的な知識や技能を習得すること

学校教育目標	『志を持って社会を創る人間の育成』	※平成25年4月制定
校　訓	「挑戦Challenge　創造Creation　協働Collaboration」	

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

北海道総合教育大綱
北海道教育推進計画
石狩管内教育推進の重点
特別支援支援教育に関する基本方針

令和5年度にできたこと・できなかったこと
（年度末反省・学校評価から）

目指す学校像	目指す生徒像	目指す教職員像
・　生徒にとって「学ぶ喜びが分かり、自分の成長を確かめられる」学校 ・　保護者にとって「安心して子供を任せ、願いが確かな成長として伝わる」学校 ・　教職員にとって「生徒の成長を共有し、職務に生き甲斐と誇りを持てる」学校 ・　地域社会にとって「教育活動がよく見え、信頼され頼りにされる」学校	・　自分をより良くするため、挑戦する意欲と前向きな気持ちを持つ人 ・　自己を理解し、将来の生活に向けた選択や決定を通して、志を持ち自己実現を目指す人 ・　創造的な心と健全な体を持つ人 ・　他者と協働し、感謝の気持ちと謝罪の気持ちを素直に言える人、言われる人 ・　自己を律しながら、地域で生活できる人	・　教育者として、強い使命感・倫理観と、生徒への深い教育的愛情を常に持ち続ける教員 ・　教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員 ・　学校づくりを担う一員として地域等と連携・協力しながら、課題に取り組む教員

教育方針	経営方針	「保護者・地域」協働の方針
(1)　本校や地域の実態及び時代の変化を踏まえた、特色ある教育課程の計画的、組織的な編成・実施及び評価を推進する。 (2)　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と評価改善に取り組む。 (3)　多様化する生徒の実態及び複雑化する問題要因を踏まえた組織的・機能的な生徒指導を実践する。 (4)　自立を見据えたキャリア教育と生徒が主体的に進路選択できる進路指導を推進する。 (5)　社会的な事象を踏まえた防災・安全教育及び体育・健康に関する指導を推進する。	①　教職員の情報共有と信頼・協力関係を基盤に、チームとして学校経営に積極的に参画する意識を高め、教育活動と経営活動が一体化した無理、無駄のない組織運営を推進する。 ②　教職員の実践的指導力、専門性の向上と学校力の向上及び教育課程の充実を図るため、組織的な実践研究・研修を実施する。 ③　生徒の生命・健康・人権を守るための予防的な対応による学校の危機管理能力の向上を図る取組を推進する。 ④　生徒一人一人が学びやすく、生活しやすい環境・条件整備を図る。 ⑤　教職員の働き方を改善し、協働性、同僚性を発揮することができる職場環境・条件整備を図る。 ⑥　学校予算、団体会計、私費会計等の緊急性、必要性、優先性に基づいた計画的、効果的な執行と適正な事務処理を実施する。 ⑦　教育公務員としての自覚に基づいた服務規律の遵守を徹底する。	①　「学校運営協議会」（コミュニティ・スクール）の効果的な運営体制と地域協働のための基盤整備を図る。 ②　特別支援教育のセンター的な役割を果たすとともに、地域、関係機関等と連携、協力して、千歳・恵庭圏域の特別支援教育の充実・発展を図る。 ③　生徒指導上の問題について、保護者・関係機関等と連携し解決するための協力関係を強化する。 ④　PTA・地域等と連携した危機管理対応の仕組みを構築する。

令和6年度の重点	□　学力向上のための「千歳高等支援の学び」となる教育課程の改訂・実施・検証 □　いじめや生徒指導事故等の予防的観点から考え実施する生徒指導

重点に取り組むための考え方

「学力向上のための効果的な教育課程の実施・検証」
「何をどう教えるのかを明確にするシラバスに基づいた授業づくり」
「作業学習、各実習と関連付けた働く力の明確化」
「人権教育、道徳教育、性に関わる教育、健康教育、主権者教育,防災教育等の教育課程上の位置づけの明確化」
「各セクトの連携による情報共有、課題解決」
「教職員の服装、言語環境を含む教育環境の整備」

「生徒指導事故の未然防止につながる教育課程」
「いじめの未然防止又は、早期発見、早期解決のための生徒の行動把握と相談体制の強化」
「組織的対応を可能にする情報等の共有」
「より効果的なタイミングで指導・支援ができる生徒指導事故対応」
「生徒理解のための校内及び校外研修の活用」

指導の重点	経営の重点	「保護者・地域」協働の重点
①　教育課程に基づいた学習指導の実施と指導内容の精選 ②　ICTを効果的に活用した授業と学力の向上の成果と課題の検証 ③　地域の資源を活用した体験的学習及び実践的、社会貢献的学習の実施 ④　SNSに関する生徒間トラブル、不登校など、生徒指導上の問題に対する協働体制の構築と開発的・予防的・個別的アプローチの実施	ア　「教育課程」・「授業（評価）」の理解及び専門性向上に向けた全教職員の研修・研究活動の実施 イ　生徒に向き合う時間確保の観点による働き方改革の具体的取組	ア　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の効果的な運営の推進 イ　PTA（保護者）と学校課題の共有と解決策の検討の実施 ウ　千歳高等支援学校をアピールできる教育活動、部活動等の推進 エ　ホームページ、学校便り、校内掲示等による情報発信・内容の充実

研究主題	

各セクトで「重点実践事項」の作成・実施・評価・改善（PDCAを意識した実践）

◇校長：校務全体に関する責任・権限　◇教頭：「職員室」経営　◇事務長：「学校事務経営」統括
＝生徒が安心し、安全に学習・生活できる「環境・条件整備」／教職員が働きやすく、個々の職能が発揮できる「環境・条件整備」＝

教務部門		事務部門
◆「学科」経営（2学科） ◆「学年」経営（3学年） ◆「分掌」経営（3分掌） ◆「教育課程」経営・「教科等」経営 ◆「学級」経営（9学級）	**教職員の学校経営への積極的な参画** **教職員個々のマネジメント力・専門性・実践的指導力・同僚性・協働性の発揮**	◆「学校事務」経営